

ちゅうおうとしょかんじどうしつ
中央図書館児童室だより



ちちんぱいぱい

がつごう
2024.12月号



E1…^{にほん}日本のえほん E2…^{がいこく}外国のえほん

J…ちしきのほん JF…^{にほん}日本のよみもの J92…^{がいこく}外国のよみもの

こんげつ ぼん ～今月のオススメ本～

『ふゆごもりのネム』E1

つだ しんいち さく え
津田 真一／作 おくはら ゆめ／絵
せかいぶんかしゃ
世界文化社

いっぽハウスという^{おお}大きな^き木の^{いえ}家で、^{きょう}ネムは今日からひとり暮らしをはじめます。他の^{ほか}部屋^{へや}でひとり暮らしをしている^{こせいてき}個性的な^{ふゆ}メンバーたちは冬ごもりの^{じゅんび}準備^{いそが}で忙しそう…。

^{よる}夜、^{かぜ}ネムは風の音が怖くてなかなか^{ねむ}眠れずにいました。そんな^{とき}時、^{へや}ネムの部屋で不思議なことが起きます。



『5ひきのくまさん』E2

キャサリン・レイナー／さく みずの ゆきこ
／やく ^{かがくどうじん}化学同人

やさしいくろくまさんがのんびりおさんぽをしていると、もじゃもじゃのくまさんに出会いました。「たのしいいちにちをすごしてね」と声をかけてくれたもじゃもじゃくまさんにくろくまさんはついていくことにしました。すると今度は^{こんど}今度はパンダさんに出会いました。

1ひき、また1ひきとくまは^ふ増えてゆき…。

児童室イチオシ！の新刊 えほん



『なんだっけ...?』E1

たなか しん / 作・絵 さく え きん ほししゃ 金の星社

あさ朝おきたときに言うだいじなことばって、
いなんだっけ？ベッドから起きたねこさんは
おこうえんにいって、おともだちに聞いてみ
きます。

ねるとき、おでかけするとき、かえってきた
とき、ごはんを食べるとき、たべ終わったと
き、だれかがおたんじょうびのとき、なんて
言うのかな？

たのあいさつが楽しくなる絵本です。



『ゆきのもりのおくりもの』E2

リンデ・ファース / 文・絵 ぶん え いわなみしよてん 岩波書店

どこかゆきのふるまち、ソフィーという女おんなの
こ子はゆめをみていました。

どこのいえもクリスマスパーティーで楽しそ
たのうなのに、ソフィーのパパは忙しくて時間
いそががない。外ならなにかすてきなことに出会える
そとかもしれないと、ソフィーはひとり、いえを出
でていきました。

えほん絵本のなかで光りかがやく、美しいツリーや
ひかオーロラをらんご覧ください。



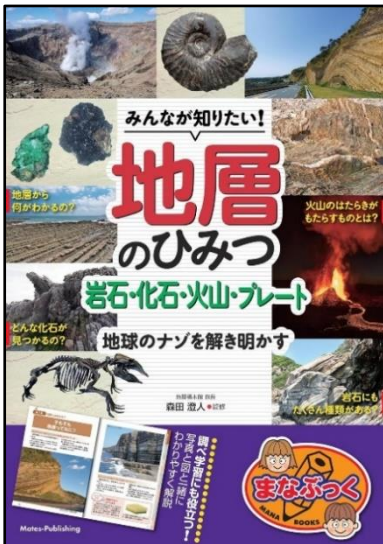
じどうしつ しんかん ちしき
児童室イチオン！の新刊 知識

『りんごの^{たな}棚と^{どくしょ}読書バリアフリー 1』J36ミ
 りんごプロジェクト／^{かんしゅう}監修 ^{かん}フレーベル館

「^{ほん}本を^よ読む」と聞いたとき、^きどんな^{ようす}様子を^{そうぞう}想像するかな？

^{しょう}障がいなどを^{りゆう}理由に^{とお}遠ざかる^{ひと}人を、「りんごプロジェクト」の^{かつどう}活動を「^{どくしょ}読書とは？」という^と問いを通し^{とお}て^{どくしょ}読書の^{しょうかい}しかたを紹介します。

^{ほん}本の^よ読み方は^{かた}自由自在。読^よむのが^{とくい}得意な^{ひと}人も^{にがて}苦手な^{ひと}人も、いろいろな^{よみかた}読み方を探してみませんか？



『みんなが^し知りたい！^{ちそう}地層のひみつ』
 J45ミ

もりた すみと ^{かんしゅう}監修 ^{しゅつぱん}メイツ出版

地面の^{した}下はどうなっているの？^{ちそう}地層って何？
 化石は^{かせき}どうやってできるの？^{かざん}火山の^{ふんか}噴火や
 地震は^{じしん}どうして^お起こるの？^{ちそう}地層を^{しら}調べると何^{なに}
 が^わ分かるの？

^{ちそう}地層の^な成り立ちや^た仕組みを^{しゅく}ビジュアル^つ付きで
 わ^わかりやすい^{かいせつ}解説と^{たの}ともに、^{まな}楽しく^{まな}学べる
 いっさつ
 一冊です。

じどうしつ しんかん よ もの
児童室イチオシ! の新刊 読み物



『トイプードルのプリンセス?』 J93 サ

トウイ・T.サザーランド／作 相良 倫子／訳
とくましょてん
徳間書店

兄が4人もいる女の子のロージーは、小さくてかわいい、トイプードルがほしかった。ところが家にむかえたトイプードルのボタンは、泥だらけになるまで遊んだり、着せた服を破いたり、やんちゃばかり。ボタンと過ごすうちに、子犬との付き合いを学び成長していくロージーと、それを見守る家族の関係にほっこりするお話です。

『出てこい、写楽!』 JF クス

くすのき せいいちろう さく ひらさわ げ こ え せいざんしゃ
楠木 誠一郎／作／ 平沢 下戸／絵 静山社

江戸で版元を営む蔦屋重三郎。その店で扱う浮世絵師である写楽は、なんと重三郎の妻の息子でした。写楽に絵の才能を見出した重三郎は、自分の店で絵師としてデビューさせます。すると絵は評判になり大繁盛。ところが、突然写楽が部屋に引きこもってしまいました。困った重三郎は、ほかの絵師に写楽の新作を描かせることにしますが…。
はたして、新作は出来上がるのでしょうか?



☆定例おはなし会のお知らせ☆

毎週水曜日午前11時～

12月は4日、11日、18日、25日です♪

